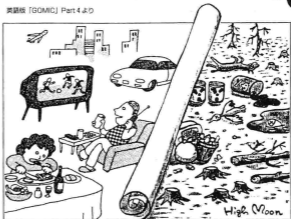
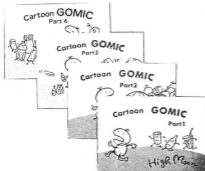


ごみを減らそう!!

英語版「GOMIC」Part 4より

英語版「GOMIC」Part 1-4



Note: Behind the scenes, what's actually happening?



今年5月～8月、京都、東京、名古屋で開催された「ハイ・ムーン漫画展」。
京都の会場での風景（日本環境保護国際交流会（J&E）主催）



国際環境美術協会出版員の授賞式で表彰されるハイ・ムーン氏（2000年7月3日）

gomi情報最前線

その少年は、小学校の授業中、ノートのパ
隅に漫画を描いていた。

漫画好きの少年は、大学時代、美術部に入
り、絵画をたしなむ。漫画本の自費出版も、
個展を開く。しかし、彼は漫画の道には進ま
なかった。選んだのは、学術の道。専門は当
時、日のあたらぬ廃棄物だった。

廃棄物をテーマにした漫画を描くのは、彼
にとって当然の成りゆきだったのかもしれない。

1982年、月刊廃棄物で漫画「ゴミック」
「廃棄物」の連載が始まる。作風は、笑いを
誘いながら、現代社会をチクリと揶揄するひ
とコマ漫画。軽い気持ちで始めたのが、連載
を繰り返して、あれよあれよと18年。学術で培っ
た専門知識や社会への眼は、漫画を通して大
きく羽ばたいてゆく。その間、描いた作品は、
500余点。日本語版「ゴミック」、英語版

「GOMIC」をそれぞれ4冊出版。市民団
体が発行する月刊誌への連載、カレンダーな
どなど。彼の翼は、高く広く飛翔を続ける。

そして今年7月、彼は漫画での功績が評価
され、日本人として初めて「国際環境美術協
会出版賞」なる栄冠に輝いたのである。

彼のペンネームは、ハイ・ムーン。本名は、
高月 純。京都大学環境保全センター教授で
あり、京都市ごみ減量推進委員会会長でもある。

ハイ・ムーン氏の漫画は、日本のごみ問題
や環境問題に関わる多くの市民を魅了した。
時には、光となり、道となった。

世界という大舞台へ飛翔した、ハイ・ム
ン氏に拍手！

めぐレットペーパーのゆくえ

1999年10月店頭に並んだ、めぐレットペーパー。学校給食の牛乳紙パックのリサイクル事業とあって全国の注目を集めたが…。商品の普及においてはまだ課題を積み残している。今後どんな展開をすればめぐレットペーパーにはずみがつくのか。その流れを追い、改善の道を探ってみた。

牛乳メーカー

小学校・中学校など



京都市立181の小学校
4中学校
3養護学校
計188校



80m×8ロール入りが370円で販売されているめぐレットペーパー。
「このトレイトペーパーは京都市の子どもたちにより回収された学校給食用牛乳パックを主原料としてリサイクルされたものです」とのメッセージがパッケージにプリントされている。



取材協力 山階小学校

- 飲んだ後パックに入った水で
- ①下洗い、仕上げ洗いし、すすいで水切りをする
 - ②箱をつくり、グループでまとめたパック5個を折り畳んで入れる
 - ③ケースに集めて回収ステーションに運ぶ。全校からここに集まってくる



牛乳メーカーが回収

牛乳工場

回収業者

京都古紙センター
フレス工場にて減容

めぐレットペーパーQ&A

- Q1 めぐレットペーパーってどこのお店でどのくらい売れてるの？
A 小売りは京都市内の58店舗で現在販売中です。(※販売先も含む)販売数量は、毎月平均、約250ロール程度です。
- Q2 どんなどころで、誰が使ってるの？
A 京都市役所内の全トイレや公衆トイレで使用されています。また市内の小学校でも一部使われています。他には、一般市民に日常使われています。
- Q3 学校給食用牛乳紙パックは年間どれくらい出てるの？
A 年間の排出個数は約13,321千個です。
また重さでいうと約120トンになります。
(1日の朝食数が約77,000食、1年間に牛乳を飲む回数約173回として算出。また牛乳パック1個の重さを約9グラムとして算出)
- Q4 1年間にどれくらいトレイトペーパーがつかれるの？
A 1年間で約120トン排出されるので、トレイトペーパーが約48万巻ほど生産できます。つまり48万巻のリサイクル資源として利用されるわけです。
(牛乳紙パック250グラム、約28個分でトレイトペーパー1ロール分)
- Q5 リサイクル効果は？
A 年間では約2400本分の針葉樹の伐採が避けられます。
1トンあたり約20本の木が獲られるので、年間排出量120トンから換算しました。



市役所

一般市民

小学校



※下京区「萬善」万寿寺店の店頭

小売店などへ



紙卸間屋



出荷

製紙工場

泉製紙

- ①抄紙工程 紙を漉いて高速生産
- ②エンボスワイング 型押し、巻取り
- ③切断・包装ライン

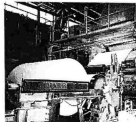
(無漂白再生ロールの誕生)

AIPA

(愛媛パルプ協同組合)

- ①選別
- ②投入コンベア
- ③パルパー/粉砕し、解きほくして液状に。ラミネート部分のポリエチレンを取りのぞく(ポリエチレンは燃料にリサイクル)
- ④粗選(スクリーン) 異物を除去
- ⑤精選(クリーナ) 小さな異物除去
- ⑥洗浄 すすぎと脱水

(パルプの誕生)



小売店の立場より

南萬善 社長 松田 正雄

今年9月からめくレットペーパーを扱っています。小学校児童たちがリサイクルに協力した商品なので、私にできることはやってみよう、めくレットペーパーを見本として配り、主旨も説明して歩きました。事業所など大きな得意先の何軒かは理解してもらい、めくレットペーパーを納めています。宣伝用に2ケースは使いました。めくレットペーパーは、ほっといたら広がらないでしょう。小売店からの何らかの働きかけがあってはじめて、理解が得られ、「それなら…」と購入してもらえるのではないのでしょうか。この後、繰り返し注文が来るのかどうか。それが課題です。

経験者の立場より

関西ミルクロードの会 永岡美紀

関西ミルクロードの会は、滋賀、京都、大阪、兵庫の生協や障害者作業所などで結成した「牛乳パックリサイクルが事業として継続できる」ことを目指す団体です。1998年8月設立、会員30団体、それに連なる市民グループなどは約300余りになります。

当会は当初から、回収だけでなく再生紙の普及も活動の主轴と考え、独自ブランド「おかえりティッシュ」と「たたいまロール」を作り販売しています。この独自ブランドを作るにあたっては、毎月牛乳パック約60トン納入と製品販売約1000ケースを、メーカーとの約束数値としました。60トンが1000ケースに再生されるわけではありません。60トンは会の回収目標値であり、1000ケースはメーカー側が提示した最低ロットです。今年の実績は、平均毎月約45トンの納入、約865ケースの販売で、徐々に伸びてきてはいるもの目標まであと一息というところで。

私たちの場合、1カ所では力量的に不可能だった問題を、ネットワークすることでクリアし、メーカー側も納得できる関係を作ってきました。そして「洗って、開いて、乾かして」という面倒くささが、「おかえりティッシュ」や「たたいまロール」になって帰ってくる喜びにつながるというストーリーが、回収団体とのコミュニケーションを生み、メッセージの広がりを生んでいると思います。何かご参考になれば幸いです。

めくレットペーパーをレポートして

山階小学校を皮切りに、めくレットペーパーの現状を探った。ある販売店の店主の「売りにくいし、店に置くのはもうやめとこうと思って」という声は、冷静に受け止めるべきだろう。小売店とのパイプを太くし、もっともっとめくレットペーパーへの理解を促すことで、販売促進は可能になるのではないか。京都市ごみ減量推進会議の会員が動くことで活路は開けるのではないかと。ゼロからのスタートだっただけに今後の課題は多い。本当のリサイクルは、これから始まる。

(レポート：広報活動実行委員 森田知都子)

めくレットペーパーへの 4人の声

生産者の立場より

AIPA (愛媛パルプ協同組合営業部長) 藤田 修
泉製紙(株) 宇高 昭造

AIPAは、組合形成による合理化、施設の大型化を回り生産体制の充実に努め、高品位のパルプを生成し、古紙による製品を生産しています。昨年、スタートした京都市の小学校給食の古紙回収については、改善しなくてはならない点があります。まず、販売量の問題。現在月間約250ケース(1ケース・64ロール入り)の発注に止まっていますが、ここを増やさないで採算面で苦しいのが現実です。

また、小学校児童が洗ってすぐにグループでパックする、京都方式は雪印とAIPAが協同で研究した結果、最善の方法として採用したものです。この簡易洗浄では、夏場は少々臭いがきつくなるので、きちんと洗ってもらうことを徹底してもらえれば、生産者としては助かります。

開発にあたって、紙のこと、流通のことなど、専門知識を持った人が加われば違った展開になっていたでしょう。

企画推進の立場より

再生紙利用促進キャンペーン実行委員会委員長
山内 寛

全国で初めての学校給食牛乳パックのリサイクルということ、滑り出しはよかったが、めくレットペーパーは、流通面で大きな課題を抱えています。扱ってもらう小売店の拡大、販売量の拡大が急がれます。

価格面でも大手メーカーのものに比べると高く、競争力がなく、店頭に並ぶと不利です。ホテルでの購入の道を探り、販路として確立できるような努めている。また、小学校に購入してもらい、子どもたちが使うことで循環のめがたが完結することになるのですが…。大切なのは、めくレットペーパーのリサイクルについて、もっともっとPRしていくことでしょう。環境学習の例として購入してもらえよう、今後の展開に努力したい。

めぐレットペーパー 販売店名簿

北 区

オーツカ本店	北区丸丸葛馬口上	441-0535
富富金物店	北区小山西大野町58	431-5388
ポロロッカ京都厚生会大徳寺店	北区紫野雲林院町30	495-8011
玉田商店	北区紫野船岡メルカト船岡	441-8468

上京区

宮城紙店	上京区樹形通出町西入る	231-6892
ポロロッカ京都厚生会出町店	上京区樹形通出町西入る二神町173	231-9593
スイングベニヤ	上京区河原町丸太町上る樹屋町365	231-6586
大宮薬局	上京区大宮通上立売上る	451-2929
須原金華堂	上京区五辻通新七本松東入る	461-1509
みやべ薬局	上京区寺町通今出川上る西側	231-5946
御出町薬局	上京区河原町今出川上る	231-1594

左京区

ポロロッカ京都厚生会北大路店	左京区下鴨本町10	723-8111
ニシムラ	左京区高野野原町11	781-4049
やなぎや日用品	左京区岡崎西福ノ川町1	771-1621
Aコープ岩倉	左京区岩倉中町395	701-2512
シビスくらた	左京区下鴨本町19-1	711-0101

中京区

㈱タケウチ	中京区三条大宮西入る	841-3105
ポロロッカ京都厚生会四条店	中京区錦小路高倉東入る中魚屋町	221-3596
ポロロッカ京都厚生会丹町店	中京区西ノ京町40-1	461-3771
㈱中塚商店	中京区下立売西大路西入る	463-5225
㈱古川朝鈴営業所	中京区高倉通り錦小路上る貝屋町564	221-4464
チカダ薬局	中京区御供町279	841-2048

東山区

嶋本商店	東山区渋谷通上馬町529	551-9656
マルカストアー	東山区一橋宮ノ内町29	561-9714
阪本商店	東山区古川町通三条下る	561-3497
一橋堂	東山区本町10丁目189	541-0812
カフムラ	東山区松原通大和路西入る	561-4161
田中文具店	東山区馬町東大路東入る	551-0752

山科区

まいづる化粧品	山科区羽野野田町26 トップセンター内	593-1002
萬善	山科店 山科区小野御霊町	571-3566
京都バルコ販売	山科区勧修寺柴山町15-36	593-9742

下京区

ポロロッカ京都厚生会五条店	下京区河原町五条下る本塩釜町582	351-3993
桜井安商店	下京区正番木屋町鹽屋町391	371-8029
八尾勝商事㈱	下京区六条通新町角	361-2848
ドラックほりかわ	下京区松原通堀川東入る	344-5563
花王堂	下京区西大路七条西入る	313-0128
萬善 万寿寺店	下京区万寿寺町西入る榎松町70	351-3074
萬善 松原店	下京区松原新町西入る	351-0630

南 区

野村商店	南区吉祥院通登東町8	681-4927
㈱山田屋	南区四つ塚22	691-4881
六孫薬品	南区八条通大宮西入る	691-2580

右京区

㈱オフィスショップヤチ	右京区西院賀町40	312-7297
玉田商店	右京区西院三蔵町30	312-6130
玉田商店	右京区西京極西川町69	312-0010
ポロロッカ京都厚生会梅津店	右京区梅津徳丸町5	881-4525
ムライ天神川店	右京区西院西貝川町74	863-4300
ミール花園	右京区花園木辻南町12	463-7000
ポロロッカ京都厚生会嵯峨野店	右京区太秦帷子ノ辻35-9	881-0036
中川金物店	右京区嵯峨明堂町5-3	871-0234

西京区

Aコープ洛西	西京区大枝新林町5-2	331-1347
--------	-------------	----------

伏見区

伏見屋	伏見区深草直達橋10-148	642-4847
㈱南條	伏見区塩屋町239-1	622-7086
㈱みのや	伏見区下板橋町579	612-1800
きわい	伏見区南替町10丁目222	611-4510
ポロロッカ京都厚生会醍醐店	伏見区醍醐大溝町8-1	572-4455
ムライD.S-1F	伏見区深草西浦町4-79	641-9234
㈱シャトルフーズ久我店	伏見区久我東町5	933-5608
松げん酒店	伏見区納所町145	631-1715

※営業販売も含まれます。

平成12年度通常総会開催 自主財源確保の道へ踏み出す

去る6月1日、京都市ごみ減量推進会議平成12年度通常総会（於…平安会館）が開かれ、平成11年度事業報告などの議案が承認を得た。

高月協会の進行により第1号をはじめ、第3号議案である自主財源確保の件についても討論され、今期より会費を徴収することに決定した。また平成12年度事業計画については、ごみ減量に関する全市的なキャンペーン事業、会報誌の発行などが承認を得た。

なお総会の後、平成11年度調査研究活動において成果のあった「リユースびん検討チーム」による、この2月より始まったリユースびんシステムの確立を軸にしたジユースのリターナブルびんの動きが紹介された。



リターナブルびんについて説明する渡藤明子さん（右）と吉川康彦さん（左）

環境の出前講座を開いた 西野小学校PTA家庭教育学級

地域の小学校児童を対象に環境学習活動を実践してきた西野地域ごみ減量推進会議（めぐる会）の動きがいちだんと広がっている。

今回の対象は子どもではなく親御さんたち。西野小学校PTA家庭教育学級において、ごみを中心としたプログラムで環境学習を開いた。

去る6月28日（火）午前10時、西野小学校ふれあいサロンには50名余の親御さんたちが集まり、ごみ減量行動につながる話を聞いた。

山内寛氏（めぐるくん推進友の会長）により、「身近な環境問題」の話の後、村西法子西野地域ごみ減量推進会議会長が実践を重ねてきた

古紙、古布、廃油、段ボールの4分別によるリサイクルについて話した。次いで、ふたたび山内氏が資源ごみの分別作業所である樟大路学園の実状について説明し、鍋、包丁などの異物混入の危険性を訴え、リサイクルの必要性やすく取り組める環境保全などの知識を紹介した。



続いて高橋かつ子氏（めぐるくん推進友の副会長）により、同会が昨年行った「再生紙利用状況についての調査」の結果をまとめて説明した。

ごみ減量実践講座開催へ。 第1回は「京都市はごみをどうして減らす」

広報活動実行委員会が企画を進めていた、ごみ減量実践講座が5回連続で開催される。第1回は、高山光史氏（京都市環境局環境企画部地球環境政策課担当課長）が、京都市のごみ削減目標とアクションプランなどについて講演する。

今年4月制定された循環型社会形成推進基本法に関する話も盛り込まれ、京都市のごみを総合的に理解するには、またとない機会になりました。第1回開催は、9月27日午後1時30分、京都市商工会議所2階教室にて。定員は70名、申し込みが必要。なお、第2回は10月17日ゼロエミッションがテーマ。サントリーの取組が紹介され、工場見学も実施される。

詳しくは、事務局 ☎2222-4091へ。

リターナブルプラスチック研究会 毎月勉強会を開いて、知識を吸収

今年度、調査研究の事業として立ち上げたリターナブルプラスチック研究会が勉強会を重ねている。去る6月26日午後には、帝人田村氏が「PENボトルについて」宝酒造吉田氏が「LCAとボトル」としてのリニューアル容態について」講演し、その後、活発な議論が行われた。

また6月3日は、プラスチック成型工場を見学した。今後は、洗浄温度、強度など試験を重ねる予定にしている。ペットボトルが増える多、ドイツなどで採用されているリターナブルプラスチック飲料容器。同研究会の活動が日本での普及の口火となることを期待したい。



活動状況

総会で決定承認を受け、各委員会で平成12年度の事業などが討議されている。一部事業においては、具体的な活動に向けて企画が進捗している。

●地域活動支援実行委員会

去る6月21日（水）午後、京都府職員会館がむかにて会議が開かれた（参加28団体、25名）。

通常総会の報告にはじまり、平成12年度予算や事業について説明の後、自由意見交換が行われた。

使用済み缶ぶら油の回収状況について、「二人でも多くの方に持って来てもらうことが大切、量は問わない」などの意見が出されたが、古紙回収の美観や悩みなどの問題も指摘された。

まずは勉強とこの4月から稼働した東部山間埋立処分地を見学しよう」という面があり、近く見学会を開くことで意見がまとまった。

「それぞれ地域でそれぞれのやり方でリサイクルなどの取り組みをしよ」と山内委員長はほしくった。

●全市キャンペーン実行委員会

めくレットペーパーを市場に送り出した再生紙使用促進キャンペーン委員会をはじめ、毎年度、数々の事業を行って来る全市キャンペーン実行委員会。去る6月26日（日）今年度第1回目の会議が開かれ、平成12年度の事業計画を中心に、討議がなされた。

長谷川和子前委員長の後任として中田富士男氏（京都

府）が委員長に就任し、当日進行役を務めた。

買い物惣持特許キャンペーンについては12大都市との連携による事業展開を行うことが確認され、その他フリーマーケットの開催、ごサート、パークセッションなどの事業について活発な意見が出された。現在、2市民団体より討議が提出されている調査研究についても議論が進められ、承認された。

当日は、井上園子（京都市生活学校連絡協議会）、有田星（フラスワン・ネットワーク）、遠藤明子（使い捨て時代を考える会）ほか、10名の委員と事務局3名が出席した。

●広報活動実行委員会

会報誌「ごみを減らそう」の発行を中心に、平成12年度第4回目の広報活動実行委員会の会議が6月22日（木）に開かれ、会報誌No.14の企画などが討議された。

同会の今年度の目玉は、事業者を対象とした講座の開催。ユーティネーターである大塚實三氏から戦略が紹介された。

事業となつているホームページについても現状が報告された。

出席者（特別委員長以下、今年度副委員長に指名された宮本時江氏（京都ボランティア協会）、中島和子氏（京都市生活学校連絡協議会）、佐藤重昭氏（京都商工会議所）、森田知都子氏（ひろしま研究会）、事務局より加納剛平事務局長、岡山尚義係長、沼崎和彦氏が出席した。

「循環型社会形成推進基本法」と京都市の取組

1. 循環型社会の形成に向けた国の動き

① 法体系の整備

「ごみの減量とリサイクルの促進は、今や国家的な課題であり、この取組において、様々な取組がなされてきました。この中で、本年5月には、増え続けるごみ問題に対し、排出量を再生利用に基づいて循環型社会の形成に向けた新たな枠組みを構築するため、「循環型社会形成推進基本法」及び新たなリサイクル関連法が制定されるとともに、産業廃棄物の規制強化に重点を置いた「廃棄物処理法」の改正等がなされました。

② 循環型社会形成推進基本法の内容

この法律では、今後ますます社会を、廃棄物の発生抑制、資源の循環的利用及び適正処分の確保により、天然資源の消費抑制と環境負荷の低減が実現される状態である位置づけ、この実現に向け、廃棄物の処理に係る優先順位を、発生抑制、再利用、再生利用、熱回収、適正処分の順で初めて法定化するるとともに、関係者の役割分担を規定しています。とりわけ、廃棄物やごみ処理場まで生産者責任を負う「拡大生産者責任」の原則が盛り込まれたことは、今後の廃棄物行政を進めしていくうえで、その実効ある取組がなされるよう、京都府としても大いに期待してまいります。

③ リサイクル関連法の制定

また、今回、国においては、個別のリサイクル法を盛り込んでいくための新たな枠組みとして、建築資材に係る「建設リ

サイクル法」及び食品廃棄物に係る「食品リサイクル法」が制定されました。これらの法律については、今後、政府令等で詳細が明らかとなりますが、現行の「資源循環型リサイクル法」、平成13年度に施行される「家電リサイクル法」と併せて、国を挙げて廃棄物の減量とリサイクルが進められることとなります。

2. 京都市における廃棄物行政の方向

① 計画に基づく取組の推進

京都市においては、昨年6月、市民、事業者とのパートナーシップに基づく取組を促す、「環境共生型都市・京都」を実現するための計画を、同年8月には、既に告知しておいております「マニフェスト」を策定しました。

この計画では、今後の取組方向として、まず初めに、ごみを出さない発生抑制等に基づくごみの減量を、更に、多くの皆さんにご協力いただいているリサイクルの推進を掲げています。そこで、京都市では、ごみ減量推進会議等と一体となった活動の促進や、排出事業者への指導の強化のほか、めざましへき地社会実現に向けたシステムへの移行など、「資源循環のための総体推進策」としての役割を果たしていくこととしてまいります。

しかしながら、ごみ減量とリサイクルを促進し、美しい環境を次代に引き継いでいく主人公は、あくまで一人ひとりの市民であり、個々の事業者です。このため京都市では、国における法体系の整備を見据えつつ、皆様方の連携を密にした取組により、一層強力に押し進めてまいります。今後ともぜひご協力をお願い申し上げます。

② 家電リサイクル法について

平成13年4月から施行される「家電リサイクル法」では、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンの4品目が対象となります。同法では、これらのリサイクルに際し、製造業者や小売業者、消費者等の役割分担が定められています。

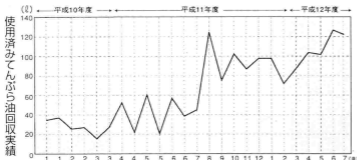
同法の施行により、今後、消費者（市民）の皆さんが対象品目を排出される場合は、小売業者等を通じて適正にリサイクルしていただくのが義務となります。同法により、リサイクルに際する費用負担の義務がなくなります。

京都市では現在、これらの品目が円滑にリサイクルされるよう、そのシステムづくりにおいて関係機関等との協議を行っていることがあり、詳細については改めてお知らせさせていただきますので、ぜひご留意ください。

環境共生型都市・京都の取組
「めざましアクションプラン」



平成13年6月
京都市



聚楽ごみ減量推進会議

Q い頃、どういふ経緯で設立されたのですか？

A 平成10年秋、上原区民まつりの時、廃食用油で動くバイオフィーゼルエンジンが展示されました。通常のガソリンと違い、排気ガスがほとんど出ないことがわかりました。その後、平成11年1月上原区社会福祉協議会の事務局で、廃食用油の使用済み天ぷら油回収器が設置されるなどの動きがあり、それまで別々活動していた社会福祉協議会、女性会、青友会が手をつなぐなかたちで、聚楽ごみ減量推進会議が立ち上がったのです。

Q 使用済みめんぷら油の回収が主活動だと聞かれています。人数も量も増えています。表

A 8月現在、毎月約15万リットルを回収を実施しています。人数も量も増えています。表

Q 田中さんのお宅の朝・白・祝日以外毎日置いておられるケースもあり、7割は原則1にもかなり集

まっています。人数も量も増えています。表

まっています。集まった油は月に1回、第2火曜日に回収に来てくれます。

Q 白いゴミ袋の汚りや匂いも気になります。どうしていますか？

A 白いゴミ袋の汚りや匂いも気になります。どうしていますか？

Q 地域の皆さんの協力はどのようにして呼びかけられていますか？

A 聚楽会では、近所とのつながりが強くて、クマニでの伝達が基本になります。もちろん回収板をまわし、回収への協力を訴えましたが、毎月1回「聚楽だより」(社会福祉協議会)を発行していますので、その紙面も利用し、呼びかけをしています。回収板をまわし、回収への協力を訴えましたが、毎月1回「聚楽だより」(社会福祉協議会)を発行していますので、その紙面も利用し、呼びかけをしています。

Q 資源ごみの収集についてはどうでしょうか？

A 街・びん・ペットボトル、3種類混合の資源ごみを回収すると、この学区は古くからの住民が多いですが、マナーは比較的守られています。最近ワルルームマンションが急増し、そのまは自分が届かないのが現状です。透明な袋はよく、またまたフルーの一般ごみの袋が多く使われています。先日、資源ごみの回収の徹底を図るため、書面と透明の袋を配布しました。透明袋の普及は今後の課題のひとつです。

また、土曜回収は、以前青友会が行っていたのを女性会が受け継いでいます。新

Q 今後どのような活動を予定されていますか？

A この問題については、常に議会の向上を図り、広く理解を求めていく必要があります。そのため、学習会や返すことが大切です。まずは南都クリンセンター、東部山岡町立旭地エコーランド「資源の森」の見学を開催し、京都ごみごみの現状について学びたいと考えています。

間、段ボール、古布は有償ですが、雑誌、チラシは逆有償で回収していただいています。

Q 今後どのような活動を予定されていますか？

A この問題については、常に議会の向上を図り、広く理解を求めていく必要があります。そのため、学習会や返すことが大切です。まずは南都クリンセンター、東部山岡町立旭地エコーランド「資源の森」の見学を開催し、京都ごみごみの現状について学びたいと考えています。

Q 今後どのような活動を予定されていますか？

A この問題については、常に議会の向上を図り、広く理解を求めていく必要があります。そのため、学習会や返すことが大切です。まずは南都クリンセンター、東部山岡町立旭地エコーランド「資源の森」の見学を開催し、京都ごみごみの現状について学びたいと考えています。

Q 今後どのような活動を予定されていますか？

A この問題については、常に議会の向上を図り、広く理解を求めていく必要があります。そのため、学習会や返すことが大切です。まずは南都クリンセンター、東部山岡町立旭地エコーランド「資源の森」の見学を開催し、京都ごみごみの現状について学びたいと考えています。

Q 今後どのような活動を予定されていますか？

A この問題については、常に議会の向上を図り、広く理解を求めていく必要があります。そのため、学習会や返すことが大切です。まずは南都クリンセンター、東部山岡町立旭地エコーランド「資源の森」の見学を開催し、京都ごみごみの現状について学びたいと考えています。

Q 今後どのような活動を予定されていますか？

A この問題については、常に議会の向上を図り、広く理解を求めていく必要があります。そのため、学習会や返すことが大切です。まずは南都クリンセンター、東部山岡町立旭地エコーランド「資源の森」の見学を開催し、京都ごみごみの現状について学びたいと考えています。

Q 今後どのような活動を予定されていますか？

A この問題については、常に議会の向上を図り、広く理解を求めていく必要があります。そのため、学習会や返すことが大切です。まずは南都クリンセンター、東部山岡町立旭地エコーランド「資源の森」の見学を開催し、京都ごみごみの現状について学びたいと考えています。

聚楽ごみ減量推進会議

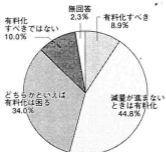
事務局所在地
 東京都上原区一条通黒門東入如水町
 B2番地
 ☎075-414-0295 FAX.075-432-0567
 会長 福井穂介
 会員数
 設立 1999年1月(平成11年)
 主な活動 使用済み天ぷら油の回収(毎月8日・15時点)
 ※但し、田中藤美さん宅では、毎日回収(日曜日を除く)



平成11年度 市民ごみ減量緊急 モニター調査結果抜粋

京都市は、今後のごみ減量対策の足がかりをつかむため、「市民ごみ減量緊急モニター」を募集、同時にアンケート調査を行った。12項目にわたる質問に対し、約9500名から回答を得た。その中から減量化の方策に関する3つの質問への回答をご紹介します。

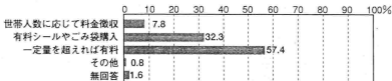
問8-1.ごみ収集の有料化についての考え方



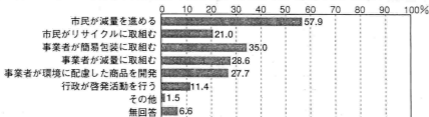
減量化の方策について (問8～問9)

ごみ収集の有料化については、「有料化」に賛成とする人が過半数を占め、逆に「有料化すべきでない」という人は、1割となっている。また、有料化の方法では、「一定量を超えれば有料」が6割弱と多い。ごみ減量については、「市民が減量を進める」が8割と最も多く、市民主導の取組に積極的な姿勢を見せている。一方、事業者にも積極的な取組の推進を求めている。

問8-2.有料化に賛成の人の有料化について適当と思う方法



問9.めぐるアクションプランに記載されているごみ減量の進め方



あなたのご意見をお寄せください

このページは、ごみに関する自由な発言コーナーです。どなたでもどんなご意見でも歓迎します。京都市ごみ減量推進会議までどうぞ。

〒604-8571 京都市中京区寺町御池
京都市環境局事業部
リサイクル推進課内

☎ 075-222-4091
☎ 075-213-0453

京都市ごみ減量推進会議 会報「ごみを減らそう」NO.14
2000年(平成12年)9月発行
編集発行 京都市ごみ減量推進会議

- 調査時期：平成12年2月10日～平成12年2月29日
- 配付数：9,614件/回収数：9,515件/回収率：99.0%
- 四捨五入の結果、個々の比率の合計が100%とならない場合がある。

